

皆様こんにちは!お盆休みいかがお過ごしでしょうか?湯沢高原は先日の台風の被害も少なく「ほっ」としていましたが、先週の悪天候(主に気温低下が影響)で植物には多少の被害が出ています…(涙)。現在の見頃は高山樹林区や林床区などとなっています。主にレンゲショウマ、タイレンハマシャジン、ヘメロカリス、オオバギボウシ、ウンナンショウマ、コオニユリ、キレンゲショウマ等が、ロックガーデンでは引き続きアポイギキョウ、フシグロセンノウ、エーデルワイス、二色ツリフネソウ、タムラソウ等が開花しています。



タイレンハマシャジン



コオニユリ



二色ツリフネソウ

### ～ユリ園情報～

今年のユリ園ももう間もなく花期が終了の時期になります。今咲いているエリアはパノラマステーション近くの「ブナの休憩デッキ」付近のみとなっています。今年のユリは全体的に花が大きく虫や動物による食害もほとんどなくとても良い状態でした(#^.^#)しかし、シーズン中盤の気温低下や豪雨被害などの影響を受けてしまいました。今後はロックガーデン方面で「ヤマユリ」や「コオニユリ」などの和ユリが見頃を迎えますのでそちらをお楽しみ下さい!(^^)!



「ブナの休憩デッキ」付近のユリは香りが強い品種で、近くに行くと甘い匂いが漂ってきます!



休憩舎奥の「林床ユリ園」

植物園内ではこれからヤマユリやコオニユリが盛りを迎えます。コオニユリは休憩舎奥の林床ユリ園に約1,000株が植栽されています。ヤマユリは園内のいたる所に咲いてきますので探してみてくださいね!!

…昔はコーナーを設けて植栽していたのですがみんな好きな所に飛んで行ってしまいました…元気に育てよ(T\_T)/~~まあ、花も自分で選んだ所に根を生やしたかったのだらうな～。温かい目で見守ります。

## レンゲショウマとキレンゲショウマ

前回少しお話した「レンゲショウマ」と「キレンゲショウマ」の花が咲き始めましたので今週はこの2品種のお花についてお話したいと思います!

まずこの2種類のお花、名前が似ていますが同じ仲間でもなんでもありません!(なん…だと…)特に「レンゲショウマ」は**1属1種でさらに日本にしかないお花**になります(とっても貴重!!)。名前に「ショウマ」とついていますが当園で咲く「トリアシショウマ」や「アスチルベ」、「ウンナンショウマ」などの花とは花の形も似ていません。ではなぜこの名前か? 「レンゲショウマ」は漢字で書くと「蓮華升麻」、花が蓮に似ており、葉の形や出方がたが升麻(サラシナショウマ)に似ていることからこの名前になったと言われています。一方「キレンゲショウマ」も1属1種なのですがこちらは中国や朝鮮半島にも自生しています。ただこちらでも日本では森林伐採などにより個体数が減少したため、自治体によっては**レッドリスト(絶滅危惧種)**に登録されています(とっても貴重!!2回目)。名前の由来は「レンゲショウマ」に似ていることからだそうですが、うーん、似てる? そんな貴重なお花を一緒に見られるのも当園のいい所!!是非この機会に皆様も見に来てくださいね(\*^\_^\*)



レンゲショウマ



キレンゲショウマ

### 特徴比較

	レンゲショウマ	キレンゲショウマ
品種名	レンゲショウマ	キレンゲショウマ
科	キンポウゲ	ユキノシタ
属	レンゲショウマ	キレンゲショウマ
分布	本州(東北南部~近畿)	西日本(四国、近畿、九州の一部)
生育環境	共に深山の湿り気のある場所	
花色	淡い紫	黄
花の特徴	3~4cm 白く見える部分は萼	2~3cm 花卉5枚
葉の特徴	3出複葉(1枚の葉が3つに分かれる)	円心型の対生(向かい合って生える)
タイプ	多年草	多年草
大きさ	60~80cm	80~120cm
レッドリストへの登録	自治体による	

名前が似ていても比較すると違いがいっぱい!!